

事業所名		児童発達支援 エポック東広島				作成日		2025 年		10 月		15 日	
法人（事業所）理念		家族や地域の人たちとともに、より幸せに暮らし、自尊心を持って自立した生活が送れることを目指します。 早期療育で幼児・学齢期におけるその基礎を、保護者と協働のもと築いていきます。											
支援方針		科学的な根拠に基づいたプログラムで支援を行います。 ①TEACCH：TEACCHの支援システムを参考に、個々の学習スタイルに基づいて本人の強みを最大限に活かした支援を行います。 ②コグトレ：認知面にアプローチを行い、身体、社会、学習の向上を目指したプログラムを提供します。											
営業時間		10 時		0 分から		11 時		35 分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・ 個々の学習スタイルに配慮しながら、時間や空間、活動を分かりやすく構造化していき見通しを持ち、安心して行動できる環境を提供します。 ・ 感染予防、整理整頓、身だしなみなど健康的な生活を送る上で必要な生活スキルを身に着けることができるよう支援を行います。 ・ 特性に応じた配慮や強みを活かし、子どもたちが「わかった」「できた」と思える機会を提供していき、自立を促進、自己肯定感を育みます。 ・ 睡眠、食事、排泄といった基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。											
	運動・感覚	・ COGOT（認知作業トレーニング）を行い、柔軟性、協調性を育むと同時に、感覚統合・筋力調整を円滑に行えるよう支援を行い、身体的不器用さの改善に努めます。 ・ その他にも、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、上肢・下肢の運動や動作の改善および習得等、身体の基本技能に関する支援を行います。 ・ 子どもの感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を行います。											
	認知・行動	・ COGET（認知機能強化トレーニング）を行い、記憶・言語理解・注意・知覚・推論力などを養います。 ・ 子どもたちが環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択して、行動につなげる一連の認知過程に対しての発達を支援します。 ・ 写真・イラスト・文字・絵文字など視覚的な手がかりをもとに状況や物ごとを理解しやすく支援する、話しかけ、読み聞かせなどによる理解を促すなど、特性ごとの配慮を行います。 ・ 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生じる行動障害を予防し、適切な行動へ導く対応を行ないます。 ・ 物の機能や属性、形・色・音が変化する様子、空間・時間といった概念の形成を図ります。その上で、それらの機能や概念を、生活していく上での認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 ・ さまざまな物を見たり触れたりすることで、物や事象について判別し、変化を理解することができるような支援を行います。											
	言語コミュニケーション	・ 具体的な物事や体験と、それに関する言葉の意味をていねいに結びつけるなどの配慮により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。 ・ 個々に配慮された場面や必要なサポートがある中で、困難の表明・援助要請・相談や報告といったスキルを身に着けることができるよう取り組みます。 ・ グループトークなど小集団での言語を用いたやり取りを行う中で、基本的な質問や応答の仕方、他者に伝わりやすい説明の仕方などを学び、習得することができるよう支援します。 ・ 発達障害の子どもなど、障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。 ・ 様々な活動を通して、評価を行い支援の方法を保護者と共に考えていきます。											
	人間関係 社会性	・ 周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行ないます。また、人との関係を意識し、身近な人と信頼関係を基盤とした関係を築いてそれを維持させるための行動や感情の抑制などを教育・支援を行っています。 ・ 集団遊びなどの連合的な遊び、ゲームやスポーツなど役割分担やルールを守る協同遊びと段階的に誘導しながら支援をしていきます。また、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加しやすいよう支援をします。 ・ 視覚的手がかりを用いて、感情の整理や認識を行い、感情調整力（コントロール）、自己認識力の向上に努めます。加えて、それらにうまく対応する手段や方法（コーピングスキル）を学び、実践的に活用していけるよう支援を行います。 ・ 視覚的な提示やロールプレイを用いて場面設定を行い、状況理解や課題に対する適切な解決方法について学ぶ機会を提供し、場にふさわしい言動や振る舞いなど日常生活や対人関係に必要なスキルを身に着けていけるよう支援を行います。											
家族支援		『個々の児に応じた療育を提供すること』を事業理念として掲げており、集団療育であっても個別的に評価し、学習スタイルに応じたアプローチを家族と協働して行っています。						移行支援		移行先との調整、相談援助、連携、交流等を行っています。 また、関係機関や保護者等、関係者等に向け、発達障害の特性や療育支援についての研修会、懇談会等を行っています。			
地域支援・地域連携		相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携や、幼稚園・保育園、学校や併用利用先との情報共有をし、一貫した支援システムが出来るよう取り組みを行っています。 また、東広島市の見守りサポーター認定を受けており地域や民生委員、児童委員との連携を図っています。						職員の質の向上		事業所内研修（発達障害の基礎研修等）や法人内研修の他、OJT、ケース検討会議など、人権に配慮し、専門性の高い療育を提供できるように日々研鑽しています。その他、最新の状況やニーズを迅速に把握し、柔軟かつ確に対応する支ため、外部より講師を招聘し、図時コンサルテーションを受けています。			
主な行事等		季節の行事・研修会・懇談会											